

2017年11月9日

建設技術フォーラム 2017 in 広島へ出展します

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上野康信）は、「地域づくりを支える建設技術」をテーマに開催される「建設技術フォーラム 2017 in 広島」へ出展し、セミナー発表を行います。

「建設技術フォーラム 2017 in 広島」は、社会資本整備の現状、必要性、効果及びこれらを支える新技術について情報交換を行い、その開発・活用・普及促進を目的としています。

なお、当社の出展・発表内容は以下のとおりです。

出展内容 : ①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法

②無人化施工

※1 出展する工法の詳細は次ページに記載のとおりです。

※2 出展ブース番号は「8」です。

発表内容 : 「既設橋梁の耐震性向上に用いるダイス・ロッド式
摩擦ダンパーの開発」

発表者 牛島技術研究所所長

2017年11月11日（土）11時30分～

< 建設技術フォーラム 2017 in 広島 概要 >

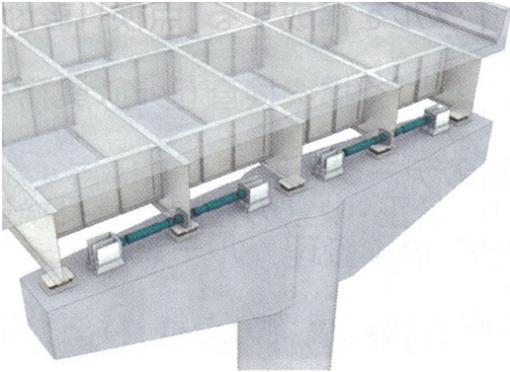
開催日時 : 2017年11月10日（金）～11日（土）

開催会場 : 広島中央公園（広島市中区基町）

主催 : 建設技術フォーラム実行委員会

公式HP : <http://www.cgr.mlit.go.jp/kisha/2017nov/171107-1top.pdf> (記者発表資料)

※1 工法詳細

①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法	出展内容
	<p>当社独自の「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を用いて、既設橋梁の耐震性を向上させる技術です。</p> <p>近年、地震直後における公共インフラの機能維持が課題となっています。当社は、既設橋梁の支承部に「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を設置することで耐震性能を向上させ、地震直後も交通機能を維持できる耐震補強工法を、首都高速道路㈱と共同開発しました。</p>
②無人化施工	出展内容
	<p>建設機械作業を無線遠隔操作によって施工する技術です。</p> <p>人が立入ることができない危険地域の施工で採用され、情報化施工技術の発展により、数十kmの超長距離無人化施工も可能です。これまでに雲仙普賢岳、桜島、樽前山を初め全国70件以上の実績があります。</p>

以上